

Planning and Coordination

MACHINE TIME EXECUTION

REPORT (2005-5-3 CYCLE)

Experimental Group	T594	Reporter	上垣内 暁
Scheduled Period and Shift	03/15 09:00 - 03/21 09:00 18 shift	Main, Sub, Para	Main

Experimenters 今井、斎藤、中澤、山本、三輪、大楽、中嶋、関、日比、高橋、Khin、中村、上垣内、清水

SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS

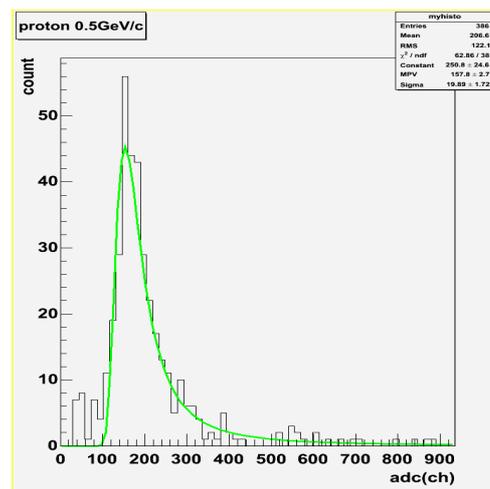
次世代ダブルハイパー核実験に用いる、両面読み出し型シリコンストリップ検出器(Double-sided Silicon Strip Detector(DSSD))のテストを行った。DSSDはその高い位置分解能とdE/dx測定精度により、ダブルハイパー核実験において、emulsionに入射し、emulsion内で停止する Ξ を効率よく選別することを目的としている。

DSSDは表面に縦方向に1280本、裏面に横方向に640本のストリップが刻まれており、各ストリップの間隔は50umである。

右図は0.5GeV/cの陽子を入射させたときのDSSDのヒストグラムである。陽子のピークが観測されており、現在、解析を進めている。

dE/dx測定実験の他に、DSSDとemulsionを組み合わせたhybrid emulsion systemとしてのDSSDのトラッキング精度を測定する実験も行った。

これらの実験から、DSSDの5MIP付近のエネルギー分解能と、track決定精度を決定する。



EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc.

3/15 9:00~3/21 9:00 の18 shiftとった。
特に問題はなかった。

COMMENTS